

高知市子ども・子育て支援事業計画・重点施策の今後の取組方針に対する評価とご意見等（要約版）
（高知市子ども・子育て支援会議委員による評価）

重点施策	評価 (平均)	主なご意見等
①健やかな子どもの誕生への支援	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊婦健診未受診者や妊娠届の遅い妊婦への支援については医療機関との連携（行政と医療機関の協力のあり方、体制づくり）が必要である。 ・ 母子健康手帳交付時の母子保健コーディネーターの面接を、地域の窓口センターへも拡充してほしい。 ・ 保健師等の在宅訪問に抵抗感を持っている方たちへのアプローチの仕方に、今ひとつの工夫が必要である。
②より質の高い教育・保育の推進	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修で得た成果が保育・教育にどのように生かされているのかについて探っていく必要がある。 ・ 保育幼稚園課と学校教育課の連携において、協力のあり方（何は一緒に行い、何は互いの専門性を生かすのか）を明らかにしていく必要がある。 ・ 加配保育士の配置基準に見合った人員確保をお願いしたい。
③地域ぐるみの見守り・子育て支援体制の充実	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で子育て家庭を支えるための機能強化のためには、保護者のニーズに的確に応えていく必要があることから、ニーズを受け止める所を明確に示していく必要がある。 ・ 地域子育て支援センターの配置について、長浜・三里の方にもあった方が良い。 ・ 「子どもの育ち」という視点から考えると、カリキュラムを作りすぎたり、必要以上に大人が介在しないような、子ども自らが考えて、活動できるような「場」を目指していただきたい。 ・ ファミリー・サポート・センター事業や一時預かり事業について、より積極的な広報をしてほしい。 ・ 親子絵本ふれあい事業について、地域内の子育てサロンの場等を活用して、できるだけ対象者のいる地区内で開催するとか、日曜日の開催も検討してほしい。
④児童虐待の発生予防	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「高知市の子どもは自分たちが守る」という意識をより浸透させることが必要である。 ・ 虐待予防の基本として、地域の孤立を防ぐため、地域住民が自ら手を差し伸べる支援組織を作ることが必要である。 ・ 実態把握や対策・対応方法の啓発にとどまらず、講習等を通じて子育ての楽しさ、重要性を加味し、意識が高まることを希望する。
⑤障害児支援の充実	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続きサポートファイルの所持率・活用率の拡大をお願いしたい。 ・ 関係機関や当事者（本人・保護者）の意見を取り入れたサポートファイルとなるように定期的な見直しをお願いしたい。親の不安（どの時期にどの機関がどのような支援に関わってくれるのか、どんな準備を親はすれば良いか）をやわらげることのできる文書があれば良い。 ・ 我が子の障がいという現実を受容しがたい保護者へのサポートが足りない。相談する所はきちんと構えていますというだけの行政では、寄り添ってもらいたい保護者の不安は解消されない。